

令和6年度 北陸修学旅行現地研修会 報告書

2024年8月1日(木)から3日(土)の3日間で行われた北陸修学旅行研修会につきまして、下記の通り、ご報告いたします。

主な訪問先	体験内容と感想
兼六園	ボランティアガイドと兼六園を巡り、水の循環について学んだ。ガイドとの楽しい会話が大変好印象だった。生徒もSDGsに関連して資源の大切さや都市の文化政策について学ぶことができると感じた。
石川県立能楽堂	国登録指定文化財の能舞台に上がり、実際に能面に触れることができた。中学生の時期に、想像力を膨らませながら能楽を鑑賞する機会があるのはよいと思った。
ゆのくにの森	石川県小松市にある伝統工芸体験施設で金箔体験を行った。他にも輪島塗、九谷焼、山中蒔絵などの50種類の体験が用意されており、班ごとに好きな体験を選んで活動することができるのが魅力的だと感じた。
山代温泉ゆのくに天祥	本格的な旅館に宿泊し、料理の質もよかった。京都市内の宿泊料金で、贅沢な時間を過ごすことができる。接客のプロから、接客の基礎や作法、おもてなしの心を学ぶことができる「おもてなし基礎講座」を生徒に体験させたいと思った。
金屋町「利三郎」	老舗の工房で、錫製品を作る鋳物体験を行った。高岡の伝統産業の歴史と文化に実際に触れることで、社会科での既習事項と結び付き、生きた知識になると思った。ただ、受け入れ可能人数が15名と少なく、料金が3500円からと高額なのが難点である。
国宝・瑞龍寺	高岡の開祖、加賀前田家2代当主前田利長の菩提寺を見学した。住職の説法もおもしろく、生徒も興味をもって過ごすことができると感じた。休日でも混雑することは少ないとのことなので、美しい厳かな空間を感じることができると思った。
黒部・宇奈月温泉	宇奈月ダム、宇奈月発電所、黒部峡谷鉄道を見学・体験した。自然と共生した人々の営みを、「発電所建設の歴史」と「持続可能なエネルギー資源」の視点で、ワークショップを行うことができる。

【総括】 京都での歴史見学にはない魅力が発見できた3日間だった。「体験」に重点をおいて活動することで、地元の方々と触れ合い、北陸地域の歴史や文化、伝統をより確かなものとして体感し、理解することができるはずである。修学旅行の候補地として検討を進めていきたい。